

東京都立駒場高等学校『駒場スタンダード』—高きに挑み深く学ぶ—

月	学校行事	【1学年】自学自習の基礎をつくる			【2学年】自学自習確立、希望進路決定に向けて			【3学年】高い志を維持できるよう「勇気が持てる」指導					
		学年行事 進路行事	面談時期 要諦	面談のポイント	保護者 に向けて	学年行事 進路行事	面談時期 要諦	面談のポイント	保護者 に向けて	学年行事 進路行事	面談時期 要諦	面談のポイント	保護者 に向けて
一 学 期	4 入学式 始業式 生徒会の日	オリエンテーション 学力テスト スタディサポート 蜚雪時代配布	①4月 顔合わせ面談	★生徒情報収集・確認、学校・クラスへ適応させることが主目的 ★学年統一形式のアンケートを事前に取り、それをもとに進めると短時間で効果も高い。 <主な質問例> ○学校での様子…「慣れた？」など ○通塾状況、部活動入部など ○困っていることなどの確認→相談に乗る姿勢 ○現段階での志望進路一難関国公立大を意識させる ○勉強方法や苦手克服方法のアドバイス	入学式 挨拶を通じて一人一人の進路実現に向けたご協力をお願い	保護者会 蜚雪時代配布	①4月 顔合わせ面談	★顔合わせに加え、進路希望や文理選択、部活動の状況などを広く確認することが主目的 ★模試分析を活用するなどして目標設定を促し、受験生として「いつから」走り出すかを考えるように伝える <主な質問例> ○現在の進路希望 ○授業の予習・復習の状況や部活動との両立 ○中間調査や模試の結果を踏まえた学習環境の整備 ※希望進路実現のために寄り添う姿勢が活発。進路意識が低い場合は国公立・私大説明会を紹介しても良い	保護者会 入試結果報告 ・進路指導の流れ ・難関大学進学に向けた情報提供	進路ガイダンス 保護者会	①4月 顔合わせ 兼 希望進路や学習状況、推薦入試受験希望の有無の確認	★第1志望や部活引退後の勉強方法、塾について等、受験に向けた準備が整っているかを確認することが主目的 ★学校推薦型選抜および総合型選抜入試の受験希望が有るかどうかも確認しておく <主な質問例> ○第1志望の確認、受験科目の確認 ○勉強時間や部活動との両立、放課後の活用方法 ○模試の対策・準備・分析および弱点の補強 ○学校推薦型選抜。総合型選抜の希望の有無（安易に流れないように留意する）	保護者会 ・入試結果報告 ・1年間の進路指導の流れや推薦入試について共有
	5 校外学習 中間調査 体育祭	進路ガイダンス				進路ガイダンス				夏期講習希望調査 第1回全統共通テスト模試			
	6 体力テスト	保護者会 チーム難関①	②6月 部活の状況と中間 調査結果	★部活の負担が増加してきている生徒や勉強との両立につまづいている生徒へのフォローが主目的 <主な質問例> ○部活動での様子…「両立はどうですか？」など ○試験結果も生活もよい点は賞める ○生活習慣の確認 ○タイムマネジメント実践への助言 ○苦手科目克服への助言 ○期末試験、夏休みの学習への意識付け ○進路意識への働きかけ→高い志	保護者会 入試結果報告 ・進路指導の流れ ・難関大学進学に向けた情報提供	教育実習生による進路ガイダンス チーム難関①	②6～7月	★オープンキャンパス候補大学を選ばせるなど、進路情報を得られる夏休みになるように指導することが主目的 ★7月模試の結果を踏まえて、自身の「苦手」克服の夏になるように伝えても良い ※「最後まで全科目を粘り切る」励ます姿勢も重要 <主な質問例> ○オープンキャンパスや大学のイベント参加について ○7月模試について ○国公立文系向けには「夏は数学のススメ」 ○年内入試希望者向けに「小論文模試について」	保護者会 入試結果報告 ・進路指導の流れ ・難関大学進学に向けた情報提供	大学共通テスト模試 夏期講習希望者 保護者会	②6～7月 (必要に応じて) 受験校の選定(挑戦校・現実校・安全校)	★受験に対して弱気になり、第1志望を下げたり、安易に推薦に流れたりしないように励ますことが主目的 ★夏季休業中に計画的に勉強を進めることや、受験校になりそうな大学の情報収集することを伝えたい <主な質問例> ○受験を検討している大学の受験科目・配点の確認 ○共通テスト模試や記述模試の分析をもとに、夏季休業日中の学習スケジュール・教科バランスを考える ※学校推薦型選抜および総合型選抜入試の受験意思のある生徒には、三者面談を行うことを伝えておく	進路講演会 お金のことや入試制度の主な変化、保護者としての心構えを伝える
7 期末調査 芸術鑑賞教室	進研記述模試 国公立ガイダンス 「進路資料」配布 夏期講習 チーム難関②			進路講演会 国公立進学にむけた「志」を持つことの重要性の伝達	進研記述模試・GTEC 国公立進学ガイダンス 「進路資料」配布 夏期講習 チーム難関②				推薦入試説明会 総合学力記述模試 国公立ガイダンス 「進路資料」配布		③夏季休業中 推薦希望者および その他希望家庭との 3者面談	★推薦を希望する生徒と保護者とはスケジュールや規定、要項の確認などを丁寧に行う。校内選抜漏れや受験後に不合格になった場合のことも踏まえて話を ★その他、受験に関する不安を抱えている面談希望家庭は多いので必要に応じて面談を行うと良い	三者面談 (必要に応じて) 不安や疑問点の解消
夏 休 み	8 部活合宿	夏期講習 オープンキャンパス 模試分析会	③夏季休業中 成績不振者・心配 な生徒と2、3者 面談	★1学期を振り返り、2学期に新たなスタートが切れるよう、サポートをすることが主目的 ★この機会に教員と話がしたい保護者も多くいるため、広く希望者を募っても良い	夏期講習 オープンキャンパス 模試分析会	③夏季休業中	【進路的な夏期休業中課題】 ・夏期休業中学習計画表 ・オープンキャンパス報告シート		夏期講習 オープンキャンパス 河合塾記述模試	③夏季休業中 推薦希望者および その他希望家庭との 3者面談	★推薦を希望する生徒と保護者とはスケジュールや規定、要項の確認などを丁寧に行う。校内選抜漏れや受験後に不合格になった場合のことも踏まえて話を ★その他、受験に関する不安を抱えている面談希望家庭は多いので必要に応じて面談を行うと良い	三者面談 (必要に応じて) 不安や疑問点の解消	
二 学 期	9 都駒祭 保護者向け 進路ガイダンス	選択科目説明会 保護者会 蜚雪時代配布	④9～10月 選択説明会後 2年次選択科目決定	★2年次の選択科目について、3年次の受験時を想定しながら確認することが主目的 ★現時点での「できる・できない」ではなく将来の進学希望の幅を可能な限り広げる観点での選択科目の指導が大切。 (基本は6教科8科目で頑張れるように後押し)	保護者会 科目を絞らずに、広く学ぶことの重要性を伝える	保護者会 蜚雪時代配布 「栄冠目指して」配布	④9～10月 3年次選択授業について	★3年次選択授業の予備調査に向けての準備が主目的 ★面談資料として、授業選択用紙(下書き)と志望校・受験科目を記入したプリントを作成させても良い ※予備調査から本調査へは基本変えられないことを伝え、予備調査から真剣に調べさせることが大切 <主な質問例> ○大学についてどれくらい調べたか(受験科目など) ○自分の志望(受験科目)に合った選択か ※プリントに細かく書かれていない各選択科目の在り方を事前に共有しておく	保護者会 希望進路実現にむけて、具体的な話を促す ・希望進路実現にむけて、具体的な話を促す ・希望進路実現にむけて、具体的な話を促す	指定校推薦 公示 指定校推薦選考会議 共通テスト説明会 共通テスト志願表提出	④9～10月 共通テスト利用入試 の受験校やその 受験科目の確認	★面談を希望する生徒に対して必要に応じて面談を行う。主な悩みは以下の通り ・共通テスト利用入試の受験校選定や受験科目の確認 ・8月末模試結果が悪く、勉強方法や第一志望に不安 ・併願校をどこにすべきか(安全校はどのあたりか) ⇒Compassや先輩の事例などを活用しながら、勇気を与える、あきらめさせない指導が重要	三者面談 または 保護者との面談 (必要に応じて) 不安や疑問点解消
	10 中間調査 オンライン 学習デー	探究発表会 選択予備調査提出 チーム難関③		<主な質問例> ○日常生活タイムマネジメントの確認 ○苦手科目がある生徒には、解決策を考えさせる ○先輩の事例の紹介 ○目標点数、偏差値を意識させ、到達への努力内容を確認する ○志望進路を描かせる→上を意識させる	進研記述模試 チーム難関③ 選択予備調査提出			★受験生の親として、どのような心掛けが大切なのかを伝える	第2回ベネッセ・駿台記述模試 推薦受験者指導	第2回ベネッセ・駿台記述模試 推薦受験者指導		※これと同時に学校推薦型選抜および総合型選抜受験者の志願票添削・面接指導・小論文指導を行う	
	11 進研模試 キャリア講演会 選択本調査提出 チーム難関④	進研模試 キャリア講演会 選択本調査提出 チーム難関④			蜚雪時代配布 選択本調査提出 チーム難関④		⑤11～12月 3年次選択授業本 調査に向けた、希望 者向けの個人面談	★予備調査から本調査まで変更した生徒や進路選択に関して面談を希望する生徒のサポートが主目的 ★教科を絞ること、科目の変更(社会など)、奨学金について、地方国公立か私立か、など個々の状況によるが、相談の内容がより具体的になってくる時期になる ※面談とは別に、修学旅行明けから少しずつ受験モードになるように促すことが大切 ※特に1・2年の範囲は、2年終わるまでに復習することを伝える。冬休みを活用させたい。	保護者会 希望進路実現にむけて、具体的な話を促す	第3回ベネッセ・駿台共通テスト模試 全統プレ共通テスト 出願校指導ガイダンス 志望校検討会	⑤11月～12月 Compasを用いた受験校のドッキング 判定分析・受験校の決定(挑戦校・現実校・安全校)	★11月模試の結果を踏まえて、具体的な志望校を決定し、受験スケジュールを確認することが主目的 ★終業式前に提出する調査書発行確認書(枚数は多めに申請)の記入事項を確認し、必要に応じて助言する <主な質問例> ○受験スケジュールについて(過密過ぎないか) ○現実校・安全校について(妥当性や受験数の過不足) ○後期受験はどうするか(受験校の選定) ○出願締め切りの確認(調査書早期に必要な場合も) ○成績証明書(英検) 体育調査書や原本証明は必要か	(あくまで情報提供に努め、「学校が薦めた」形ではなく、あくまでご家庭で話し合っただけで決まらう形が望ましい)
	12 期末調査	がん教育講演会 模試分析会 東京英語村 GTEC チーム難関⑤	⑤冬季休業中 成績不振者・心配 な生徒と2、3者 面談	★2学期を振り返り、3学期に新たなスタートが切れるよう、サポートをすることが主目的 ★特に、進級の可否を見据えて、生徒の希望に添えるように状況を把握し、情報提供する。必要に応じて複数で対応すると良い。	進路ガイダンス 模試分析会 修学旅行 チーム難関⑤					調査書発行確認書 兼 受験結果報告書 提出			
三 学 期	1 推薦選抜	学力テスト 進研模試 チーム難関⑥	⑥1～3月 (必要に応じて)	★学習・生活状況確認や希望進路決定への意識付け及び2年生への意識付けが主目的 <主な質問例> ○2学期成績、11月模試結果に基づいた指導 FINESYSTEM、Compassなども使って苦手科目分野の把握、克服法などを確認 ○苦手科目克服へ意識醸成、実践へ ○日常生活タイムマネジメントの確認 ○大学入学共通テスト6-8への意識付け ○志望校を描かせる→難関国公立大を中心に ※必要な生徒、希望する生徒には休業前、休業中に三者面談、二者面談を実施	進研記述模試 チーム難関⑥		①1月～3月 (必要に応じて)	★希望進路実現に向けた意識づけが主目的 ★その一方で、クラス全体に向けて、1月は、同日模試・進研模試・河合外部模試と模試も多いため、それを生かして①1・2年の範囲は、2年終わるまでに復習すること(3年次から1・2年の復習は遅い) ②3学期に入り、優先順位も部活動から受験に変化し始めるため、部活動を途中で投げ出さないことや受験で使わない教科を無下にしないことをとあるごとに伝えていくことが大切。	保護者会 希望進路実現にむけて、具体的な話を促す	共通テスト事前指導 共通テスト 本番 共通テストリサーチ提出 志望校検討会 リサーチ返却	⑥1月 リサーチを用いた志望校分析、出願校最終決定	★リサーチの結果を踏まえて、最終的な出願校を指導することが主目的。 ★希望者を募ったり、面談の必要な生徒を適宜ピックアップして実施しても良い。 <指導のポイント> ○これまでやってきたことを信じること ○Compassの合格者分布を用いながら2次での逆転可能性を判断する →それによって出願校の再検討が必要であればサポートする ○後期はどうか確認(受験校を変えるか) →基本は3月の最後まであきらめない姿勢が大事	三者面談 または 保護者との面談 (必要に応じて) 不安や疑問点解消
	2 文化部発表会 生徒大会 学力選抜	チーム難関⑦			共通テスト同日模試 チーム難関⑦			私立入試 国公立入試(前期)	個別指導 添削指導			不安や疑問点解消 受験校を変える・追加するような指導が必要な場合は丁寧な対応が必要な場合も	
	3 学年末調査	スタサポ 模試分析会 合格報告会 (現役合格者講話)			模試分析会 合格報告会 (現役合格者の講話) 新旧学年引継会				卒業式 国公立入試(後期)	(必要に応じて) 次年度挑戦する生徒との面談 予備校の確認		※必要に応じて三者で実施(地方大など新たな選択肢が出た場合は特に) 次年度再挑戦のケースも保護者と併せて確認する	